

事業番号	- 1	事業名	減量化・資源化推進事業			
所管	環境	局	環境事業	部	廃棄物政策	課
【検討委員の主な意見等】						
<ul style="list-style-type: none"> ・堺市における物質循環型社会を実現するため、堺市がめざすビジョンを明確にすべき。 ・ごみの総排出量を削減したうえで、その後再資源化率の向上をめざすべき。 ・容器包装リサイクル法について、拡大生産者責任の厳格化などの抜本的改正に向けて、自治体やN G Oとの協力、ネットワーク化を進めるべき。 ・生ごみの減量化・資源化や紙ごみ分別収集の具体的な対応が明確でない。 ・ごみの有料化は、ごみ排出量の削減においては有効であるが、有料化以前に、紙ごみの分別や生ごみの有効利用など行政として取り組むべきことがある。 ・今後の減量化・資源化に向けた計画をさらに具体的に構築し、直営・委託の内容と規模を早期に明確化する必要がある。 ・リサイクル率のみを目標設定することは意味がない。環境共生都市を掲げるのならば、堺市内で再資源化や減量化を完結できる（循環できる）ことを目標とすべき。 						
【評価区分】 「主な具体的強化策」、「主な具体的改善策」は市民審査員からのご意見です。					審査員	検討委員
市で実施（現行どおり）					0	0
市で実施（強化・拡充）					3	0
主な具体的強化策	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体、事業主、市民団体をまとめて、大きな取組をしていけるのが行政である。（ごみ減量・目標設定・市民告知など・事業主への推進） 					
市で実施（要改善）					14	5
事業主体・手法の改善策	民間への委託を進める				(1)	(0)
	市民との協働を推進する				(7)	(0)
	市が直接実施するのではなく、補助金等を支出して、他の事業主体（担い手）で実施する				(0)	(0)
	その他				(0)	(0)
事業実施の改善策	事業の実施内容を見直す				(5)	(2)
	他の事業との統合・再編を検討する				(1)	(0)
	事業規模を見直す（サービスの水準や対象者等）				(0)	(0)
	市以外からの財源の確保を図る				(0)	(0)
	サービス受給者の自己負担を見直す				(2)	(0)
	PR を強化して、事業の周知を図る				(3)	(0)
その他				(0)	(3)	
主な具体的改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃工場整備事業との整合を図りながら、分別、再資源化の検討を行って欲しい。 ・リサイクルなど PR の強化と工場建設などにかかる費用を明らかにし、経費削減を全面に出して欲しい。 ・一定量は無料。定量を越えた分は有料（住民一人当たり）。 ・ごみ減量化の中でのリサイクル率アップが望ましい。 ・ごみの資源化を推進する前に、まずごみを出さないことが一番。市民と協働でごみを減らす。 ・ごみの有料化導入については、低所得者への負担増とならない様な計画が必要。まだ有料化は早いと思われる。 ・堺市職員自身が「ごみ」に関するビジョンを共有し、本気で取り組んでいるのかを市民に見せる必要があると思う。 					
実施主体の見直し					0	0
選択の理由	民間の方が効果的・効率的にできる				(0)	(0)
	国や府で統一的に実施する方がよい				(0)	(0)
	他の自治体と広域連携で進めるほうが効果的・効率的にできる				(0)	(0)
	その他				(0)	(0)
事業は不要					0	0
選択の理由	行政で行う役割は終了している（事業開始当初の目的は既に達成されている）				(0)	(0)
	時代の変化に伴う課題やニーズ（需要）を反映していない				(0)	(0)
	事業の目的を達成するには、別の手段を考える方がよい				(0)	(0)
	サービス受給者の自助努力に任せるべき（税金を投入する必要はない）				(0)	(0)
	効果がない（低い）				(0)	(0)
	その他				(0)	(0)

各評価の内訳人数は、2つ以上の選択のあるものについてはカウントしていない。